



2021年12月24日

各 位

会社名 小津産業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 今枝 英治  
(コード番号 7487 東証第一部)  
問合せ先 理事管理本部長 三崎 剛志  
TEL 03-3661-9400

## 新市場区分「プライム市場」の選択申請及び 上場維持基準の適合に向けた計画書の提出に関するお知らせ

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日開催の取締役会において「プライム市場」を選択することを決議し、申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせします。

### 記

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっております。「流通株式時価総額」については基準を充たしておりません。

当社は、「小津グループ中期経営計画2024 (Leap into the innovation)」を強力に推進し経営基盤の強化を実現。2024年6月からはじまる次期中期経営計画での更なる飛躍を目指し、2027年5月期末日までに上場維持基準を充たすために各種取組みを進めてまいります。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)	1日平均売買代金 (億円)
当社の状況※	9,177人	45,401単位	93.2億円	53.8%	0.23億円
上場維持基準	800人	20,000単位	100.0億円	35.0%	0.20億円
適合状況	○	○	×	○	○

※当社の状況は、株式会社東京証券取引所が移行基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

#### 2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容等

プライム市場上場維持基準の適合に向けた「流通株式時価総額」の向上にかかる取組の基本方針、課題及び取組内容については、添付の「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」に記載のとおりです。

(注意) 本資料で開示されている将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

以上



# 新市場区分の上場維持基準の 適合に向けた計画書

2021年12月24日

**小津産業株式会社**  
証券コード：7487

# 1. 上場維持基準の適合状況および計画期間



## 【プライム市場上場維持基準適合状況（移行基準日：2021年6月30日現在）】

	株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式比 率	1日平均 売買代金
当社の状況 (※)	9,177人	45,401単位	93.2億円	53.8%	0.23億円
上場維持基準	800人	20,000単位	100.0億円	35.0%	0.20億円
適合状況	○	○	×	○	○

※当社の状況は、株式会社東京証券取引所が移行基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

## 【計画期間】

「小津グループ中期経営計画2024 (Leap into the Innovation)」を強力に推進し経営基盤の強化を実現。2024年6月からはじまる次期中期経営計画での更なる飛躍を目指し、2027年5月期末日までを計画期間として、プライム市場上場維持基準の適合に向けた各種取組みを進めてまいります。

## 2. 上場維持基準の適合にむけた取組みの基本方針



### 【基本方針】

「小津グループ中期経営計画2024(Leap into the Innovation)」  
を強かに推進し、経営基盤の強化を実現  
2024年6月からはじまる次期中期経営計画での更なる飛躍を目指します

企業価値の向上により

流通株式時価総額の維持基準充足を目指します

### 【中期経営計画の基本方針】

「紙と不織布」の技術力を基盤に、製造機能を拡充した商社として  
収益性の更なる向上を達成します

### 3. 課題および取組み内容



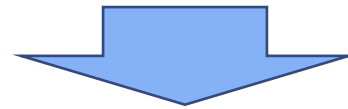
流通株式時価総額の向上を目指し、  
定量面・定性面、両面からの取組みを推進します

#### 【定量面】

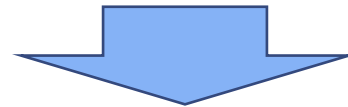
- ・ 業績拡大、収益力向上による  
経営指標数値の向上
- ・ 流通株式比率の向上に向けた  
取組みを併せて実施

#### 【定性面】

- ・ 情報開示、I R活動の充実
- ・ グループ経営基盤の強化



中期経営計画の着実な推進による企業価値の向上



流通株式時価総額の向上

### 3. 課題および取組み内容

#### ①ー1 小津グループが目指す事業像



##### ■ 企業理念 :

「伝統とは継続的な開拓の歴史」との認識のもと、  
お客さまの満足や喜びを第一に考えた新しい付加価値を提案し、  
豊かな暮らしと文化に貢献します

##### ■ 小津グループが中長期的に目指す事業像 :

製造商社機能の高度化、新規事業の創出、事業ポートフォリオ変革により、  
「価値創造企業」への飛躍を目指します

##### ■ 3カ年計画である中期経営計画2024 :

「紙と不織布」の技術力を基盤に、製造機能を拡充した商社として  
収益性の更なる向上を達成します

# 3. 課題および取組み内容

## ①-2 小津グループの体制



■ 製造商社機能の強化を目指し、  
付加価値を生み出す技術力・開発力をベースに高機能不織布事業を展開

過酢酸系の除菌剤販売  
(除菌・殺菌)

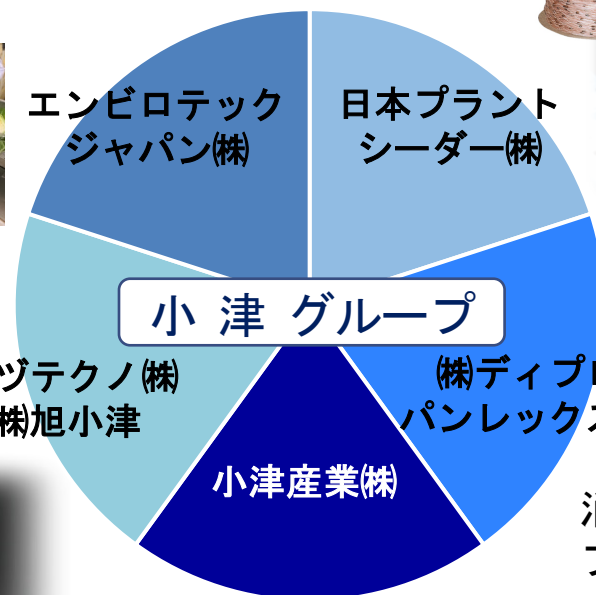


エンビロテック  
ジャパン(株)

日本プラント  
シーダー(株)



アグリ分野  
(シーダテープ製造販売)



不織布、紙製品の加工



不織布、  
紙製品の販売



消毒・除菌WET、  
フェイシャルシート等の製造販売

# 3. 課題および取組み内容



## ①－③ 進行中の中期経営計画の骨子

Leap into the Innovation

「紙と不織布」の技術力を基盤とした「価値創造企業」へ

### 中期経営計画2024

主要戦略

- ① 製造基盤の強化
- ② 海外展開の拡充
- ③ 新規事業の確立
- ④ グループ経営基盤の強化

計数目標

売上高 170億円  
営業利益 14億円  
ROS 8% ROE 8%

※長期的には、売上高200億円、  
ROS・ROE 10%水準を目指します

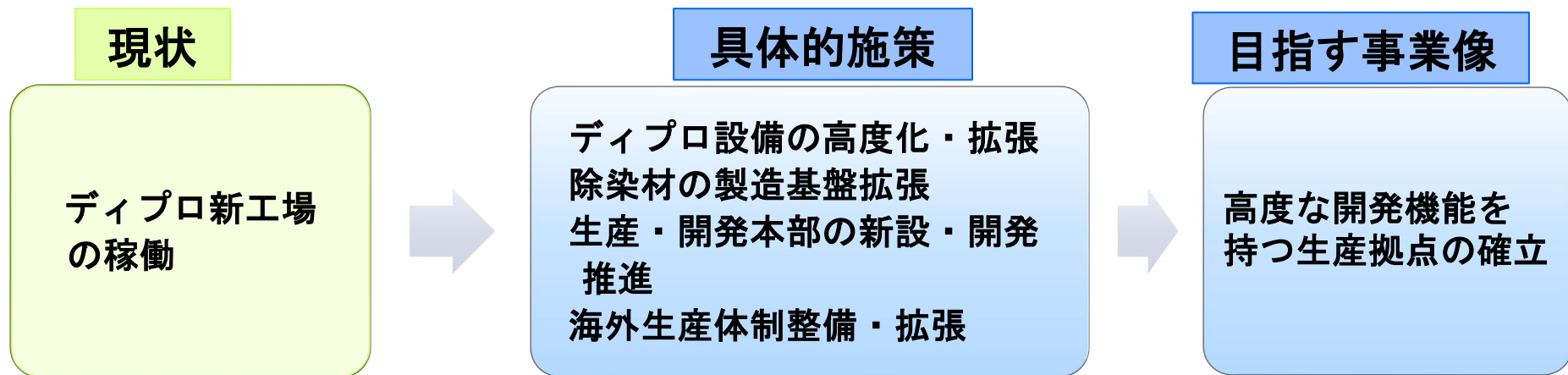


# 3. 課題および取組み内容

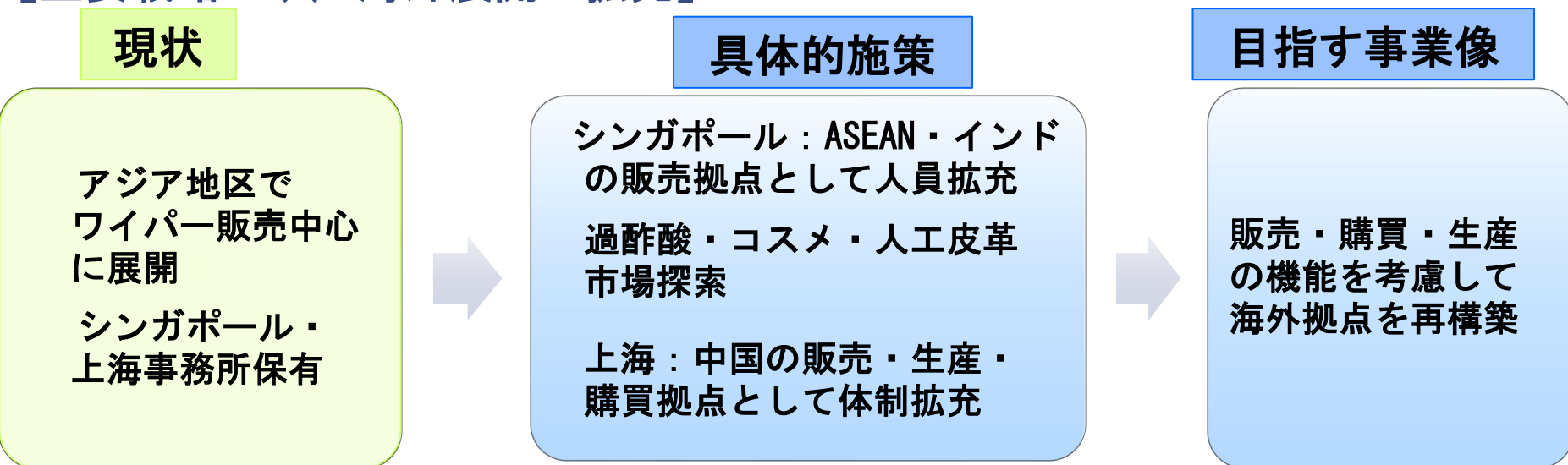


## ①-4 進行中の中期経営計画の骨子

### 【主要戦略 - (1) 製造基盤の強化】



### 【主要戦略 - (2) 海外展開の拡充】





### 3. 課題および取組み内容

#### ①-5 進行中の中期経営計画の骨子

##### 【主要戦略 - (3) 新規事業の確立】

###### 現状

除染材・過酢酸  
の拡販ワーク

###### 具体的施策

- ・ 過酢酸の食品分野での拡販
- ・ 電力会社における除染材の普及
- ・ 大学との共同研究・開発
- ・ M&Aも視野に入れた新事業探索

###### 目指す事業像

次世代の事業の柱  
となる事業の構築

##### 【主要戦略 - (4) グループ経営基盤の強化】

###### 現状

グループ  
シナジー強化

###### 具体的施策

- ・ グループ会社での営業連携
- ・ 製造工程のCO2削減、  
環境対応商品開発
- ・ ESG経営

###### 目指す事業像

グループ力を結集  
した価値創造企業  
へ

### 3. 課題および取組み内容

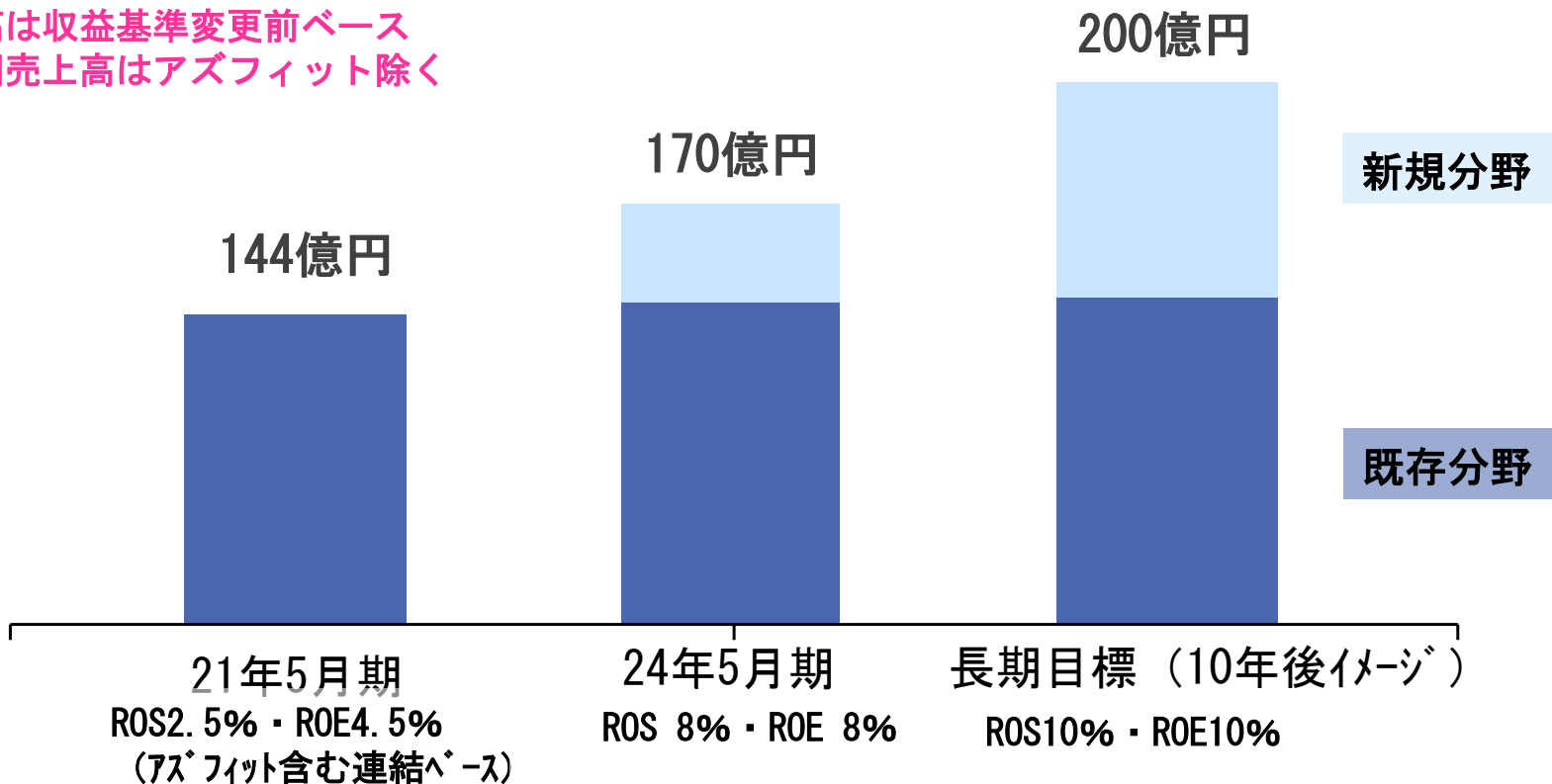
#### ①-6 進行中の中期経営計画の骨子



#### 【中長期の成長戦略】

- 不織布加工機能と新規事業を柱にして、今後積極的な投資を計画
- 10年後には売上高200億円規模を目指します

※売上高は収益基準変更前ベース  
21/5期売上高はアズフィット除く



# 3. 課題および取組み内容

## ②株主還元

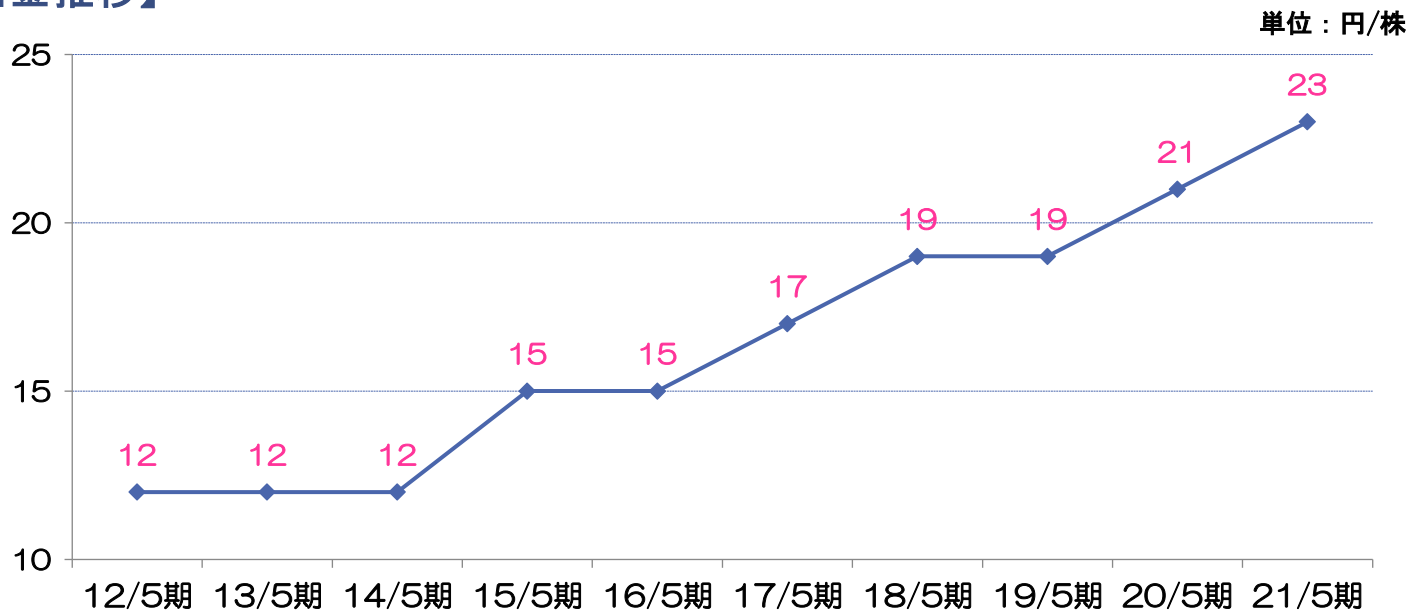


### 【株主還元方針】

株主さまに対して、長期的に安定した利益還元を行うことを基本方針としつつ、合わせて当社グループの企業体質の強化と将来の事業展開に備えた内部留保の充実を総合的に勘案し、株主還元を行います

業績拡大・収益力向上によって得られる利益については、上記の株主還元方針を踏まえつつ、還元の拡大を検討してまいります

### 【配当金推移】



### 3. 課題および取組み内容 ③流通株式比率の向上



#### 【流通株式比率の向上】

政策保有株式等の縮減により、  
事業法人等所有の株式の流通株式化を実施  
⇒流通株式比率の向上

+

業績拡大、収益力向上による経営指標数値の向上  
⇒株価の向上



**流通株式時価総額の向上を目指します**

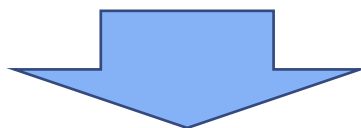
### 3. 課題および取組み内容

#### ④情報開示、I R活動の充実



情報開示、I R活動を積極的に展開

株主・投資家さまとの対話を深めることで信頼と期待を高め、株価の上昇を図ります



#### ■ わかりやすい開示の推進

経営計画、決算等について、わかりやすい開示を推進します

#### ■ 株主・投資家さまとの対話の促進

機関投資家さまとの個別説明会の開催や、個人投資家さま向け説明会の開催により、当社の認知度の向上および当社事業への理解促進を図ります  
株主・投資家さまのご意見を経営に反映してまいります

### 3. 課題および取組み内容

#### ⑤グループ経営基盤の強化



グループ力を結集した価値創造企業を実現し、  
企業価値の向上、流通株式時価総額の向上を目指します

#### 【具体的施策】

- グループ一体となった営業強化、生産管理の推進
- ESG経営への取組み

環境	生分解・海洋生分解する当社主力不織布製品「ベンリーゼ」 「ハイゼ」の拡販を通じ、持続的社会へ貢献 製造工程のCO <sub>2</sub> 削減、油吸着剤等の環境対応商品の開発推進
社会	グループ一体での人財育成 在宅勤務・柔軟な働き方の推進
ガバナンス	企業価値の向上とタイムリーかつ適切な情報開示による株主・ 投資家さまとのコミュニケーションの充実



## 本資料に関するお問い合わせ

小津産業株式会社 経営企画室

Email : [soumu@ozu.co.jp](mailto:soumu@ozu.co.jp)

<https://www.ozu.co.jp/>

## 本資料の取り扱いについて

- ・本書には、当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- ・別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- ・当社グループは、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- ・当社グループ以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

以上